



News letter

祝日授業日及びオープンキャンパスにかかる託児利用料補助がスタート！

本学ではこれまで休日に学内で実施する全学行事に関し、希望に応じて外部業者を利用した臨時学内託児室を開設してまいりましたが、平成31(2019)年4月より祝日授業日およびオープンキャンパスによる教職員の出勤時に、原則として大学がベビーシッター利用料を全額負担することに支援の運用を改めました。(※2020年度以降、利用状況を踏まえて補助金額を検討する可能性もあります)本制度は、雇用形態を問わず、小学生以下のお子様がいっしょの方なら誰でも申請することができます。なお、ベビーシッターの来訪に支障がある場合は、学外一時保育施設の利用も補助対象となります。ぜひ積極的に制度をご活用下さい。

詳細はこちら

[HWP]文書管理 > 10教職員共通 > 10申請書・様式 > 225男女共同参画推進室 > 10休日の全学行事に関する託児



2019年度前期男女共同参画推進室ランチ会を開催

男女共同参画推進室では、1年に6回程度、教職員・学生の皆さんが自由に参加できるランチ会を開催しています。育児・介護・家族等をテーマに、研究や仕事との両立方法や最近の関心事を楽しく話し合う90分は、新しい発見や共感にあふれるあたたかい時間です。今回は、2019年度前期に開催されたランチ会についてご紹介します。



次回は・・・

11月26日(火)

「知りたい！ベビーシッターなんでもQ&A」

ゲスト 株式会社マザーネット

代表取締役社長 上田 理恵子 氏



4月

「男女共同参画推進室って
どんなところ？
～本学の育児・介護支援制度を語ろう～」



メンター
法学研究科
長塚 真琴
教授

今年度第1回目のランチ会は、新入生および新任教職員の皆さんを迎え和やかにスタート。男女共同参画推進室の事業内容や参加者の方々の新生活についてのお話など、所属や年齢の垣根を越えて楽しく話し合いました。また本学育児支援基金の立ち上げにご尽力いただいた長塚先生に基金の成り立ちをご説明いただいたほか、保育園選びのポイントなども教えていただき、参加者からは「とても有意義だった」と好評をいただきました。

5月

「変容するライフスタイル
—親との関係性—」



メンター
社会学研究科
足羽 與志子
教授

ワークライフバランスや女性活躍推進等、男女共同参画を考える上で深い結びつきにあるのが、家族。5月ランチ会では家族の中でも特に『親』にフォーカスし、多様化する価値観の中での親との関係性について皆さんと一緒に考えました。足羽先生ご自身のご経験を交えたお話は大変興味深く、先生に悩み事を打ち明ける参加者の姿も。そんなひとりひとりの相談に先生が親身になってあたたくアドバイスをくださった貴重な会となりました。

7月

「若手研究者の研究と育児の両立とは
—身近なロールモデルと話そう—」



メンター
上村 陽子
氏
JSPS特別研究員
(大妻女子大学)
言語社会研究科OG

7月ランチ会は本学OGの上村陽子氏をお迎えし、研究とライフイベントに軸に置いた若手研究者のリアルな日常をお伺いしました。留学生を含む参加者からは活発な質問が飛び出し、話はアジアの子育て事情にも！初対面の参加者同士であっても家族や生活の話は共通点が多く、皆さん笑顔で会話されていたのが印象的でした。また「子どもには多様性を学んで欲しい」という上村氏から、ジェンダー関係のおすすめ絵本も教えていただきました。



令和元年度 後期研究支援員制度 8名でスタート

一橋大学では、出産、育児、介護、看病等により十分な研究時間を確保できない研究者を支援するため、『研究支援員』(本学大学院生等)を配置する制度を実施しています。令和元年度後期は、定員7名のところ8名の応募があり、審議の結果8名全員の制度利用が決定致しました(男性4名、女性4名)。利用者は研究内容に合った研究支援員候補者を自身で選出し、勤務日時を調整することができるため、効果的な支援を受けることができます。次回の募集は、令和2年2月頃(予定)です。個別に事前相談も承りますので、ご希望の方はどうぞお気軽に男女共同参画推進室までお問い合わせ下さい。



研究支援員制度 利用者の声

●研究支援員は単に指示通りに業務に取り組むだけでなく、より良い方法や必要となる作業を自ら提案し研究の進行を支えてくれた。

●「これが欲しい」とあらかじめわかっている資料を入手するために図書館まで行きコピーをとるのは忙しいときには精神的に大変消耗するので、研究支援員がいてくれるのは非常にありがたい。

●研究支援員の助けによって新たな研究の立ち上げが可能となり、もともと進めていた研究にもシナジー効果があった。



令和2年度 根岸病院事業所内保育所(ねぎし保育園) 利用者募集を開始しました



国立キャンパスの近隣にある根岸病院の事業所内保育所であるねぎし保育園と本学において、子どもを優先的に預け入れることのできる教職員枠を

設ける協定を締結し、平成29年4月よりねぎし保育園の利用を開始しました。令和2年4月入園の申込を右記の通り受け付けますので、入園を希望される方は総務部人事課労務係まで申請書類を提出してください。

1. 募集人数

計6名 (0歳児1名、1歳児2名、2歳児3名)

※全体の定員7名 (0歳児1名、1歳児3名、2歳児3名)

2. 利用対象者

一橋大学に在職する教職員(常勤)であって、かつ、配偶者が就労・就学中である等、市区町村に「保育の必要性」が認定される見込みの者。

3. 申込期間

令和元年11月1日～11月29日(令和2年4月～5月入園)

※令和2年6月以降の入園は、定員に空きがある場合又は空きが生じた場合に募集を行う。

詳細はこちら 【HWP】文書管理 > 10教職員共通 > 10申請書・様式 > 220人事課 > ねぎし保育園利用関係



育児中の学生を応援！千代田キャンパス5F 多目的トイレにベビーチェアを新設

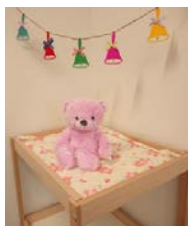
千代田キャンパス5F多目的トイレ内に、ベビーチェアを新設致しました。千代田キャンパスには、1F多目的トイレ内にもベビーチェアおよびおむつ交換台がございます。ぜひご利用ください！ 国立キャンパス内のベビーチェアおよびおむつ交換台の設置箇所については、下記URLより一橋大学バリアフリー(アクセシビリティ)マップをご覧ください。

https://www.hit-u.ac.jp/shien/counseling/shougai/accessibility_map.html



ベビー休憩室

男女共同参画推進室では、おむつ交換台、授乳室、ベビーチェア、ポット(70℃設定可)、冷蔵庫、電子レンジ、クッションマット、絵本などをご用意育児中の皆様の支援を行っています。研究と育児の両立にぜひお役立て下さい。
※託児は行っておりません



お申込み・お問合せ：

一橋大学 男女共同参画推進室

Tel: 042-580-8730

Mail: gen-fr.g@dm.hit-u.ac.jp

<http://www.sankaku.ad.hit-u.ac.jp/>

国立西キャンパス 第2研究館 7階 710号室

開室時間 平日9:30～16:30

